

# 有限会社 くさかへ 日下部鋳金 工業所

建物を雨や風から守り、その寿命を  
延ばすプロフェッショナル。

建築板金・屋根工事業

勤務地 / 新居浜市垣生

## をご紹介します！



社名 / 有限会社 日下部鋳金工業所  
住所 / 愛媛県新居浜市垣生 3-乙 310-12  
設立年月日 / 1988年(昭和63)8月  
代表者 / 日下部 条  
資本金 / 500万円  
従業員数 / 7名(2026年6月時点)

募集職種 建物を守る未来の技術者(建築板金)

### マストで知りたい Q&A

#### Q01 この会社は 何をしている会社なんですか？

私たちは、家や学校、工場などの屋根や外壁をつくって、建物を雨や風から守る会社です。自分たちが手がけた建物は何十年も街に残り、たくさんの人の暮らしを支え続けます。そんな誇りを感じられる仕事です。

#### Q02 板金って何のことですか？

板金とは、金属の板を切ったり、曲げたり、加工して建物の屋根や外壁に取り付ける仕事です。雨や風から建物を守り、見た目もきれいに仕上げる大切な役割があります。

#### Q03 社会のどんな役に 立っているんですか？

私たちは、台風で屋根が飛ぶのを防ぎ、雨漏りや古くなった工場・建物を修理して、安全な暮らしを守っています。建物を長持ちさせ、地域の人が安心して過ごせる街づくりに役立つ仕事です。

#### Q04 将来、どんな資格が取れますか？

建築板金技能士をはじめ、玉掛けや高所作業車、足場組立など、現場で役立つ資格の取得を目指します。資格を取るほど任せられる仕事が増え、将来は現場をまとめるリーダーとして活躍することもできます。

#### Q05 勉強が苦手、工業高校卒じゃなくても大丈夫ですか？

もちろん大丈夫です。図工やDIY、プラモデルづくりが好きだった人は、この仕事に向いているかもしれませんね！技術は入社後に、じっくりと、一つずつ身につけられます。

#### Q06 AIに仕事を奪われることは ないですか？

建築板金は「AIやロボットでは難しい仕事」です。建物ごとに形や大きさが違うため、その場で考えながら加工・施工する技術が必要です。人の経験と技術が欠かせないため、将来も必要とされ続ける仕事です。



日下部 条

初めまして社長の日下部です。

### ぶっちゃけコレが知りたい！

#### Q01 外仕事って、 夏はすごく暑くないですか？

めっちゃ暑いですが(笑)でも今は空調服や冷却グッズ、水分補給、こまめな休憩が当たり前。実は夏よりも冬の強風の方が大変な日もあります。安全第一で働ける環境づくりを徹底しています。

#### Q02 雨の日は仕事が休みになるんですか？

実は休みにはなりません。外で作業できない日は、工場での屋根や外壁の加工をしたり、道具の手入れや翌日の準備を行います。天気に合わせて仕事を進めるので、ムダなく様々な技術を磨けます。

#### Q03 手先が不器用でも大丈夫ですか？

もちろん大丈夫です。最初から器用な人はほとんどいません。金属を切る・曲げる・取り付ける技術は、毎日の仕事で少しずつ身につきます。気づけば「できる」が増え、自分の成長を実感できる仕事です。

#### Q04 どんな時にやりがいを感じますか？

自分が手がけた屋根や外壁が完成し、街の景色の一部になった時です。何年経ってもその建物は残り、家族や友達に「あれ、自分がつくった建物なんだ」と胸を張って言えることが、この仕事の一番のやりがいです。

#### Q05 職人さんって 怖いイメージがあります…

そう思う人も多いかもしれませんが…社長や僕を見て「怖そう」って思いますか？(笑)昔みたいな「見て覚える」の時代ではありません。分からないことは何でも聞ける、話しやすい職場です。

#### Q06 建物が完成したら、 どんな気持ちになりますか？

言葉では言い表せないくらい嬉しいですね。自分が手がけた屋根や外壁が何十年も街に残り、その建物がたくさんの人が暮らしたり働いたりします。この建物、自分がつくったんだと胸を張れる瞬間が、一番のやりがいです。



秋山 英樹

もうすぐベテランの領域



## 技術のバトンを繋ぐ。50年後も残る技を、次の世代へ。

ベテラン職人が培った一生モノの技術を、次の世代へ。教科書では学べない本物の技術を、経験豊富な職人から直接学べる貴重な環境です。

### ミリ単位で金属を加工する技。

建築板金の仕事は、金属の板を切ったり曲げたりするだけではありません。建物ごとに屋根の角度や大きさ、風の向き、雨の流れまで考えながら、一枚一枚オーダーメイドで加工・施工します。わずか数ミリのズレでも、数年後に雨漏りやサビの原因になることがあるため、図面どおりではなく、現場で職人が判断しながら仕上げる技術が欠かせません。同じ建物は一つとしてないからこそ、毎日が新しい挑戦です。AIや機械では再現できない経験と感覚を受け継ぎ、完成した建物を何十年も守り続ける。それが、建築板金という仕事の本当のすごさです。

### 建物を守り続ける施工の技。

屋根や外壁は、建物の“見た目”をつくるだけではありません。台風の強風や大雨、真夏の強い日差しなどから建物を何十年も守る、とても重要な役割があります。もし施工にわずかなミスがあれば、雨漏りやサビ、建物内部の腐食につながり、大きな修理が必要になることもあります。そのため、私たちは建物の形や周囲の環境、風や雨の流れまで考えながら、一つひとつ丁寧に施工しています。完成した瞬間だけでなく、10年後、20年後、30年後も安心して使い続けられる品質をつくるのが職人の使命です。目立たない仕事ですが、建物の寿命そのものを支える技術だからこそ、簡単には身につかない、本当に価値のある技術なのです。



# 本当に知りたいこと

メリットもデメリットも全部正直に



## AI時代、求められるのは学歴ではなく「技術」です。

AIにできない技術だからこそ価値がある。手に職をつけた人が、これからの時代選ばれ、「間違いなく」稼げる存在になります！

### 2035年のキミの姿。

今では道具の名前も迷わず使いこなし、現場では先輩から頼られる存在になっています。建築板金技能士などの国家資格を取得し、難しい仕事も任せられる一人前の職人へ。自分の技術が評価され、収入も着実にアップ。学校や工場、住宅など、自分が手がけた建物が街に増え、「あの建物は自分がつくった」と胸を張って話せるようになっていきます。教えてもらおう立場だったあなたは、今度は技術を次の世代へ伝える立場に。経験と技術を積み重ね、地域から信頼される職人として活躍している——それが、2035年のあなたの姿です。

### 2035年のキミの歩み。

休日、家族と車で街を走っていると、子どもが「お父さん、この建物知ってる？」と聞いてきます。あなたは笑顔で「あの学校の屋根はお父さんがつくったんだよ」「あの工場も、お父さんたちの仕事なんだ」と答えます。子どもは目を輝かせながら「すごい！」と言います。自分が手がけた建物は何十年も街に残り、たくさんの人の暮らしや仕事を支え続けています。建物を見るたびに、その現場で仲間と汗を流した日々を思い出し、「この仕事を選んでよかった」と心から思える。自分の仕事を家族に誇れ、子どもにも胸を張って語れる人生。それが、建築板金という仕事がつくる未来です。



## もしかしたら、同級生で一番稼ぐかも。

手に職をつけた人の価値は、これからますます高まる時代。もしかしたら、一番稼いでいるのはスーツではなく作業着のあなたかもしれません。

### 技術者が足りない時代だから。

今、建設業界ではベテラン職人の高齢化が進み、技術を受け継ぐ若い人材が全国的に不足しています。一方で、住宅や学校、工場などの建物は年数が経てば必ず修理やメンテナンスが必要になります。つまり、「仕事はなくなるしない」のに、「技術者は減っている」という状況が続いているのです。そのため、高い技術を持つ職人の価値は年々高まり、社会から必要とされる存在になっています。資格や経験を積み重ねれば任せられる仕事も増え、収入やキャリアアップにもつながります。これからの時代は、学歴だけではなく「何ができるか」が大きな武器になります。本物の技術を身につけた人ほど、将来の選択肢も可能性も広がっていく時代です。

### AIには真似できない。

AIの進化によって、事務や接客など多くの仕事が自動化されるといわれています。しかし、建築板金はAIだけではできない仕事です。建物は一つとして同じ形がなく、屋根の角度や寸法、風向き、周囲の環境まで考えながら、その場で金属を加工し施工する必要があります。図面どおりに進めるだけではなく、現場で判断し、ミリ単位の精度で仕上げる技術は、経験を積んだ職人だからこそできるものです。だからこそ、この仕事は将来も社会から必要とされ続けます。AIが広がる時代だからこそ、人にしかできない技術の価値はますます高まり、本物の技術者が選ばれる時代になっていきます。

